

夏山
シーズ
到来！

石 鎚 社 報

発行所
〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地
石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

7・8月号



「遙拝の鳥居」スタジオ旅路 渡邊 祐氏撮影

道

コロナ禍とあの世情は何だったのか。私たちは心に留めて後世に繋いで行かなければならない、と思います。

同時に、元の暮らしを取り戻す。自らが率先して一日も早く元の日々を取り戻す。

そして、新しい時代を作る。この三つが、コロナ禍を経験し今の世に生きる私たちの務めなのでしょう。

「止まない雨は無く、明けない夜は無い」。いかなる困難も必ず終わり、新しい未来を作る時が来る。後進や子孫にそう伝え、信じて生きて欲しい。

何よりも、人と人との顔を合わせ語り合うことがどれ程にまで有難い事か、を思い知らされました。

復活された数多くの神賑わいと会議行事を拝見して、日々の暮らしの有難さを感じとります。「有り難い」とはまさに「有る事が難しい」のですね。感謝の心の大切さを知りました。

武智。

成就社役行者尊例大祭お火焚き祈願祭 齋行

去る四月三十日午前十一時より中宮成就社にて役行者尊例大祭並びにお火焚き祈願祭が執り行われました。コロナも五類へと移行する目前でもあり、春の過ぎやすい時期と重なったからでしょうか多くの参列者の祭典となりました。



先ず成就社本殿を拝礼した後、見返り遙拝殿へと進み、参列者一同で霊峰石鎚山を遙拝し祭典が斎行されました。そして翌日の頂上社開門祭を控えて武智宮司より

山の安全と感謝を祝詞にて述べられ玉串を奉り拝礼されました。



続いて見返り遙拝殿前にて斎行されたお火焚き祈願祭では、十亀権宮司の手による全国から寄せられました五百八十二本の祈願木を一つずつ読上げ、また参列者と共に蔵王教会の佐藤先生のご先導で、大祓詞斉唱・般若心

経読誦、立螺の響きとともに願い成就しますよう心一つに祈願申し上げました。祭典納めには祈念いたしました。当日のみの役行者守を参列者全員に贈呈させていただきました。

次年の役行者尊例大祭・お火焚き祈願祭も多くの御参列を心よりお待ち申し上げます、成就社に鎮座されております役行者尊の神威益々の発揚と、遠方から参集いただきました全国各地の信徒の皆様のご多幸と、常日頃より御配慮いただいております関係者各位に感謝申し上げます。報告と致します。

記 仕出 瀧澤 勝



五月二十一日
令和五年度 第十一回

『御神像奉持習礼』
(本社於)

去る、五月二十一日(日)石
鎚神社口之宮本社に於いて三
十二名が参加して御神像奉持
の習礼(予行演習)が執り行わ
れました。

新緑鮮やかな青天の下、午前
十一時に本社本殿に二十七名
の参加者と武智宮司を始め職
員、平岡常務総代を始め役員な
ど総勢三十二名が参集。本殿土
間拜殿にて開式太鼓の後、お祓
いを受け、参加者全員が武智宮
司管長の先導で神殿を拝礼。開
式太鼓で開講奉告祭を執り行
い、その後習礼場へ移動して、
中予崇敬組合東山伸也元老顧
問による柔軟体操で皆、身体を
ほぐし、備後崇敬組合深川健二
元老大顧問神鏡笏に指導を仰
いで、御神像奉持の注意事項や
仕方など、実際鎖場で御神像
リュックを背負ったの登り下
りの実践を全員が参加し体験
して頂きました。

この習礼場は、令和二年にお
山開き大祭の象徴の一つであ



る御神像奉持の勇躍奉仕を広
く知って戴き、神事の安全を願
い、同志の信頼と友情を深め、
未来の御神像奉持の広がり
を期するため、本社境内の一面に
「習礼場(しゅらいじょう)」が
設けられました。
習礼場には、石鎚山の象徴で
ある御鎖が一条、懸崖され、徳
島県、常務総代・本教理事、平
岡 明神鏡笏・元老大顧問の
ご奉納です。
来年は、石鎚山頂上にて執り
行う予定です。
今後、お山開き大祭での参加
は勿論、この体験を生かし、ま
すますのご活躍と先達として
組合の中心となり多くの信徒
をお山開き大祭へお導き頂き
ますことを念願し、参加者のご
健康とご多幸を祈念して報告
いたします。

権禰宜 大岡 記

参加者

《中予崇敬組合》

- 日下 武史副取締
- 佐伯 隆典元老
- 渡部 浩二副取締
- 窪田 常忠特選部長
- 東山 伸也元老顧問
- 山本 一章監長
- 宮田 尚樹元老顧問
- 定井 暢男名誉大監長
- 亀岡 正雄大監長
- 宮内 浩一副監長
- 吉岡 稔副監長
- 松波 賢一 山本 良成
- 仙波 圭介 河本 浩典
- 松波 快翔 佐伯 竜彦
- 濱田 隼人 細川 英世
- 石山 利久 有家 秀治

《備後崇敬組合》

- 深川健二神鏡笏元老大顧問
- 西原 善久元老大顧問
- 佐藤 孝次特選部長
- 山根 雅敏副取締
- 占部 将副取締
- 伊東 宝來

《本社》

- 武智 正人 十亀 博行
 - 大岡 忠徳
 - 中西 幸男金笏元老大顧問
 - 平岡 明神鏡笏元老大顧問
- (順不同・敬称略)



参加者集合写真



習礼風景

夢華神楽社中 神楽奉納 奉納演目

「石鎚光鈴の舞・桜の舞」

令和五年五月一日の月次祭に併せ、夢華神楽社中の皆様にお神楽をご奉納頂きました。

コロナ禍以前は毎年ご奉納頂いておりましたが、実に四年ぶりのご奉納となりました。

参拝の皆様も奉納を楽しみながらご覧になり、奉納後半の「御福まき」(お菓子まき)では、多くの方が「御福」を頂いて帰られました。



ご奉納ありがとうございました。

記 権禰宜 十亀

お初穂奉納者

五万円以上ご奉納いただきました皆様

令和五年四月六日

令和五年六月十五日まで

《本社》

◎壹拾万円以上

岡田 廣恵 藤井美枝子
河原 力

◎五万円以上

愛知遙拝所 澁谷 恵美子
※春季例大祭へ
正木 康夫 御豊瀬教会

(順不同・敬称略)

また、本社での五万円以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただきます。
ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

文責 権禰宜 大岡

頂上社護持奉賛会 寄付者 芳名簿

令和五年 四月 六日から
令和五年 六月 十五日まで
※五万円以上奉納者

◆福岡崇敬組合◆

壹拾万円以上
佐伯妃未 佐伯龍昇
(順不同・敬称略)

真心のご浄財を賜りました皆様には、ご奉賛心より厚くお礼を申し上げます。
尚、奉賛会は今後も継続しておりますので、ご協力をお願いいたします。

担当 大岡・岩本



役員就任

令和五年五月二十二日の総代評議員会にて役員選出が行われました。

石鎚神社 氏子総代
石鎚本教 評議員



伊藤

ひとし

旧大保木地区の出身。生粋の氏子として、伊藤光貞名誉顧問のご推薦を頂き、ご就任されました。

お山開き大祭の六月三十日・七月十一日、本社へ成就社までの御神輿渡御奉仕団团长を約二十五年ご奉仕頂き、勇壮果敢な奉仕団を纏めて頂きました。

石鎚本教

教会等級昇格

準二等教会

山口県

鐘ヶ淵教会

教会長 山田 春治

元老顧問
権中教正



令和五年五月二十二日 昇格

昨年、教会創立七十周年を迎え、山田教会長を中心に各地にて布教教化に尽力されています。五月の総代評議員会にて辞令が下付されました。

今後益々のご活躍・ご隆昌を祈念し、ご報告と致します。

記 権宮司 十亀 博行

職員紹介

たきざわ まさる
瀧澤 勝



三月十六日(三十一日)までの実習期間を経て、四月一日付けで奉職させていただく事になりました。

出身は愛媛県鬼北町です。福祉系の学校を卒業後、広島、高知の児童養護施設で虐待を受けた子ども達の生活を看っていく仕事をさせていただきました。福祉業界の事しか知らない自分でしたが石鎚神社とご縁をいただいた事に不思議な感情を抱きつつ本当にありがとうございます！と考えれば考えるほど思います。思い切つて前職を辞めた時は不安も大きかったです。今はやりた事に触れられてる事に喜びを感じるばかりです。前途多難かもしれませんが自分の選んだ道が正しい道だったと言えるように努力していこうと思えます。ご指導とご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

篠塚菜乃羽



四月二十一日より巫女として奉職させて頂くことになりました。

私が、石鎚神社に興味を持ったきっかけは、私自身これまで大阪で暮らしていたのですが喧騒の中で毎日をこなす生活を変えていきたいと思ふ自然豊かで美しい景色の中にある、石鎚神社に身を置きたいと考えたことです。巫女としての作法、身だしなみ、言葉使いの一つ一つを学ばせていただきながら、石鎚神社で御奉仕できることを大変嬉しく思っております。

ご縁を戴きました事に感謝し、人との出会いを大切にしながら、巫女として精進して参ります。皆様にご迷惑をお掛けしてしまふこともありますが、ご指導の程よろしくお願ひ致します。

暑中お見舞い申し上げます

神社・本教 職員

名誉宮司・名誉管長

十亀 興美

宮司・管長

武智 正人

権宮司・宗務局長

十亀 博行

彌宜・宗務局次長

曾我部英司

筆頭権彌宜

佐々木規人

権彌宜

大岡 忠徳

土小屋遙拝殿主任

十亀 雅史

権彌宜

玉井 安胤

出仕

山崎 浩司

巫女

高岡 健

會計長

曾我部洋輔

会館事務長

勝本 貴大

雇用員

片岡 明路

頂上山荘主任

田窪 芳弘

雇用員

瀧澤 綾奈

高橋

野村 留華

片岡

小西葉留華

松岡

篠塚菜乃羽

泉美

伊藤 正彦

高橋

荒井 健文

西岡

高橋 政憲

岩本

人見 義一

片岡

昌美

高橋

直子

高橋

泉美

高橋

季容

会館

渡部 由香
片川 妙子
真宏

神社・本教 役員

名誉顧問

松岡 大八
浦松 久美
川西 幸男
中西 幸男
吉田 宏
伊藤 光貞
田辺 紀江

本教名誉顧問
常務総代・本教理事

平岡 照彦
湊 信一
岡村 和義
沖野 一善
田窪 亨
高橋 貴文
藤原 拓
高橋 省司
伊藤 法泰
加藤 嘉孝
岡本 將史
山中 保文
曾我部 幸
秋山 一幸
入江 仲明
下川 栄市
澁谷 正俊
渡邊 博毅

氏子総代

本教理事

常任監査
監査

参与

崇敬組合長・評議員

眞本 高年
岡本 行成
菅三十四
重見 幸男
西原 和男
永井 久
岡中 功
梶川 吉彦
坂本 登
岡本 昇
河村 英樹
村井 宗幸
安岡 桂一郎
江藤 秀人
木村 稔
平松 史朗

西田自治会長
評議員

横林 誠
浦松 剛
平松 廣志
岩本 伸明
入江 善
田窪 一照
藤本 孝久
黒瀬 貴
坪内 統
秋山 幸
沖野 和義
岡村 信一
横田 一徳
安岡 桂一郎
山中 將史
森 文成
三吉 真司
江藤 秀人
川西 久美
田辺 和彦
加藤 法泰
中西 幸男
西田 幸子
佐伯 良子
加藤 保彦
越智 節子
湊 喜美子
木村 稔
井上 忠史
越智 汀祐
深川 健二
勝本 房利
山田 春治

令和五年七月一日現在

(順不同・敬称略)

第56回石鎚青少年錬成会 ご案内

日 時	令和5年8月17日(木)～8月20日(日) 8月18日(金) 石鎚山頂上山荘宿泊
集合場所	石鎚神社会館
集合時間	8月17日 午前8時30分
資 格	小学校3年生以上
会 費	一人8,000円 本来の会費は一人10,000円ですが、組合・教会・遙拝所等所属のお子様方の育成を念頭に入れ、敬神婦人会員より参加費一人につき2,000円助成頂いております。 *引率者(保護者)で参加希望の方は事務所へご連絡下さい。
定 員	20名先着順
旅 費	片道運賃支給(学割使用)
申 込	当社の組合・教会・遙拝所等に所属されております、お子様方の育成の講習会です。
持 参 品	筆記用具・洗面用具・運動靴(スパイクシューズ不可)・下着・雨カッパ・長袖シャツ・Tシャツ・水筒・ジャージ(色物可)・帽子・リュックサック・ウィンドブレーカー・タオル・会符(所有の方)・保険証(コピー可)・帽子用防虫ネット(必要な方)
※食 事	<u>アレルギーをお持ちのお子様に対応出来かねます。</u>

- 女子はみそぎ用に下着(白かベージュ)を余分に用意下さい。
 - お小遣い五千円まで(成就・頂上の自由時間に買い物を持参する場合があります)
 - 登山時の着替え用として(ジャージ下・下着・靴下・Tシャツ・タオル) 日程必要数プラス一枚の準備をお願いします。
 - 飲み薬・コルセット・サポーター等、体調管理に必要な備品は持参して下さい。
- (参考) ○令和4年8月15日 石鎚山頂上の気温 朝18℃ 昼23℃
必ず長袖のシャツ・ウィンドブレーカー等を持参下さい。

申込期限

7月31日(月)迄

※不明な方は本社までお問い合わせ下さい。

〒793-8555

愛媛県西条市西田甲 797

錬成会事務局 担当 / 曾我部洋輔 電話 0897-55-4044

音霊の祈り

(令和五年) 第四十五回
石鎚流 太鼓打ち方講習会

〔太鼓は音霊〕

各祭典で石鎚流開式太鼓、御神像拝戴太鼓、閉式太鼓、打つてみませんか？これまで受講経験のない方でも大丈夫です。志ある方のお申し込みをお待ちしております。また、実際に祭典にて太鼓を打たれている方もより一層の技術向上を目指しましょう。

左記日時にて執り行いますので、数多くのご参加をお待ちしております。

記

〔日 時〕

八月二十六日(土)

午前八時 受付

八月二十七日(日)

正午 解散

〔駐車場〕

第1駐車場入り口の向かい側、緩やかな坂を登った青色の建物周辺へ駐車下さい。

〔持参品〕

白衣・白袴・足袋・笄・筆記用具・洗面用具・着替え等

〔参加資格〕

先達会符取得者

〔受講料〕 一万円

・前泊は、基本的に県外の方対象です。

〔申込締切日〕

八月十日(木)

◎開閉式太鼓・御開帳太鼓

(※御開帳太鼓は開閉式太鼓を三回以上受講した人が対象)

◎二日目には太鼓打ち上げ奉納を神社会館三階にて行います。

◎各教会・遙拝所・崇敬組合を通じてお申し込み下さい。

開閉式太鼓とは：

祭典の最初と最後に打つ太鼓

御開帳太鼓とは：

石鎚神社特殊神事である御神像拝戴時に打つ太鼓



第 44 回石鎚流太鼓打ち方講習会



第五十三回 霊峰石鎚山 三十六王子社巡拝 並びに納め札奉納

ご 案 内

全行程徒歩にて巡拝可能な方を募集、現在定員二十名を予定!

〔日程〕十月二十四日(火)より 二十七日(金)まで(三泊四日)

役行者によって開山されて以来、数多の修験者によって祈りを捧げられてきた三十六王子社巡拝行。石鎚神社・石鎚本教・教会聯合会では、石鎚山三十六王子社の顕彰事業として、巡拝と祈願納め札の奉納を行います。左記要領(三泊四日)にて行いますのでご案内申し上げます。

《三十六王子社巡拝要領》

〔本社集合〕 十月二十四日(火) 午前七時

〔本社解散予定〕 十月二十七日(金) 午後六時

一、会 費 一人 金三万五千円也

一、持 参 品 洗面具・雨衣・防寒具・簡易アイゼン・着替え・ライト・各自薬・その他登山装備

一、申込期限 九月末日 一、定 員 二十名(予定)

※世情を鑑みて開催内容の変更並びに人数の増減を行う場合がございます。一、駐車場 社務所直下の第一駐車場 場右手の坂を登った青色の建物周辺へ駐車下さい。

一、参加者は道中危険な所がある為、元気な方・体力に自信がある方の参加を希望します。

一、教会遙拝所所属の方は、各所属の長を通してお申し込み下さい。

※個人で参加ご希望の方は、お知り合いの当石鎚の教会・遙拝所の長の紹介にてご参加下さい。

一、参加者は必ず、二組以上の「祈願納め札奉納のお世話をお願いします。」

※簡易アイゼンは本社にて、千二百円代頒布しています。お問い合わせください。

《三十六王子社祈願納め札 奉納申込要領》

一、納め札一組(三十六枚) 金五千円也

◎希望者は、住所・氏名を申し込み用紙に書いて九月十五日までにお申し出下さい。

◎申込書が届き次第貴方へ「納め札」を送付致します(送先は世話人一括か各人宛か〇印を付けて下さい)ので、各々に住所・氏名・年令と祈願内容を祈願される方がご自身でお書きいただくようお願い致します。

◎記入済みの「納め札」は十月十日必着するようお願い致します。(本社宛)

◎お申し込みは、一人で何組でも結構ですが、連名の場合原則として一組二名以内とします。

◎納札奉納祈願申し込みの各位には、巡拝後「三十六王子社守」を、お世話人を通じ、あるいは各位に送付申し上げます。

※お問い合わせ本教三十六王子社担当曾我部までお願い致します。

TEL 〇八九七(五五)四〇四四(代)

(納め札)

霊峰石鎚山 三十六王子社巡拝

祈願記入日 年 月 日

第三十六番 天狗嶽王子社大前祈願

願意 願主 才

(裏 ・ 表)



(縦 7cm × 横 3cm)



(三十六王子社 御守り)

大麻頒布式

令和五年十一月一日

午前十時より

来る令和六年に奉斎する大麻(たいま・おはらいさん)の頒布式を月次祭にあわせて行います。

令和六年の新しい年を迎えるにあたり神棚を清め、神宮大麻・氏神神社及び崇敬する神社の大麻・お神札を大神様の大御^{みひろし}霊として拝受・奉斎し、一年間各家庭の守護神として諸々の罪穢を祓い清めていただきます。

大神様の広大な御加護をいただき、家族の一年間の無事と幸せをお祈りいたしましょう。

どうぞ皆さまお誘い合わせてご参列ください。

神札と神棚

《神棚のまつり方》

神棚は家庭の中心ですから、いつもきれいにしておき、南か東に向くようにおまつりします。

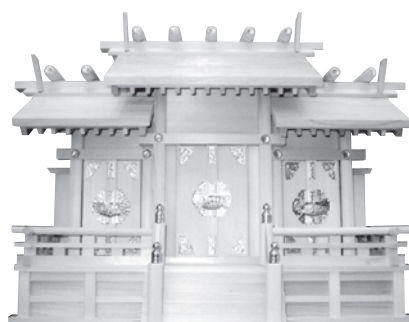
神棚の無いご家庭でも大麻を受けていただき、目の高さくらいのタンスや本棚の上を綺麗にして、簡易神棚・御札立を置き、神棚としておまつりください。

御神前には、毎日のお米やお塩・お水等の他に季節の初物、お土産等も感謝の気持ちを込めてお供えし、お参りしましょう。

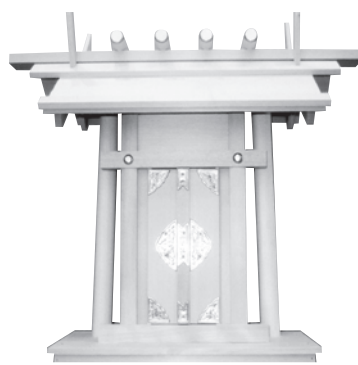
◎一年間お守りいただいた古いお札は感謝を込めて、石鎚神社、またはお近くの氏神様に納めましょう。

・神棚(三社造り)(二社造り)は、本神社事務所へお声掛け下さい。

神棚 (三社造) 神棚 (一社造)



初穂料 二七、〇〇〇円



初穂料 一二、〇〇〇円

サイズ：高さ44cm×横巾46cm×奥行22cm

簡易神棚

・簡易神棚と御札たては、本社、成就社へお声掛け下さい。

御札たて



初穂料 一、〇〇〇円



初穂料 一、〇〇〇円

神宮大麻

石鎚神社大麻

をお祀りしましょう

神宮大麻、石鎚神社大麻を始め、神札は、新しい年を迎えるとき、また新居などへ引っ越しの際に、ご自宅や会社を御守護（おはらい）して頂く御札です。

神宮大麻

初穂料一、〇〇〇円



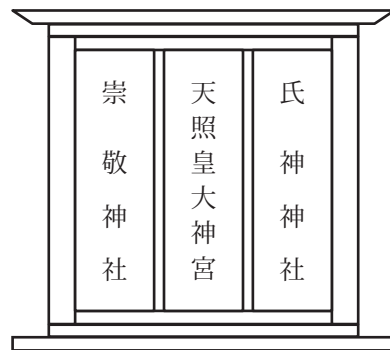
石鎚神社大麻

初穂料一、〇〇〇円



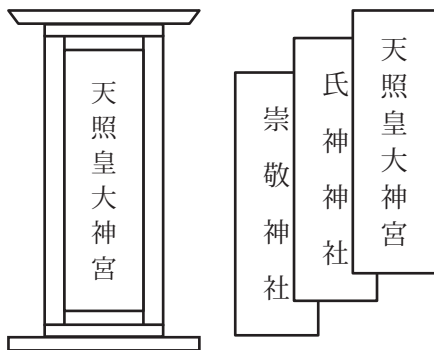
《大麻のまつり方》

横に並べてまつる場合
三社造



重ねてまつる場合

一社造・簡易神棚・御札立



《大麻頒布

御世話人の皆様へ》

例年、お世話人の皆さまによりまして各地の信者・崇敬者の方々に大麻のお世話をさせていただきましたこと厚く御礼申し上げます。

本年の石鎚神社大麻数の変更、また御世話人の変更等がございましたら、九月中に本社までご連絡していただきますよう、お願い致します。

尚、ご連絡のない場合には昨年と同数の大麻を送付させていただきます。

また、新しく大麻頒布のお世話人をしていただく方を募集しています。大麻十体以上お世話していただける方は本社までご連絡ください。

【連絡先】

石鎚神社 担当 祭儀課
電話 0897-5514044

伊予市伊予郡遙拝所 創立百五周年奉祝大祭齋行

遙拝所長 水口 泉

元老大顧問
有功神鏡笏

権少教正



この遙拝所は、石鎚神社社司、故武智勝丸命が、自身が奉職する廣田神社境内に古来より存在した講社組織を遙拝所として設立したもので、石鎚における最古の遙拝所の一つでもあります。

【本社出向】

武智正人 宮司・管長

十亀雅史 権禰宜

野村綾奈 巫女

岩本昌美 事務員

沖野和義 常務総代

吉田宏名 誉顧問

令和五年五月三日、晴天に恵まれた中、伊予市上三谷の廣田神社境内に鎮座の遙拝所において、創立百五周年奉祝大祭が南予・中予組合関係者を始め多くの信者の参列の中、盛大に齋行されました。



この節目を迎えることができ、遙拝所長は感極まり目に光るものを堪えながら祝詞を奏上され、参列者全員に玉串をご奉奠頂き、感謝と祈りの真心をもって共にご奉仕頂きました。祭典後は、祖霊祭が齋行されました。五年前に急逝された故河合昭次命が合祀され、先人達へこれからも見守って頂くようお祈りされました。



祭典後には、遙拝所長を始めこれまで尽力頂いた方々へ感謝状が贈呈され、先達・教師の辞令伝達が行われました。



その後、御神像拝戴、餅撒きが盛大に行われ、周年をお祝いしました。



今後、遙拝所長を中心に信徒一同が心一つに遙拝所の発展に力を尽くして更なるご活躍されますことをお祈りいたします。ご報告といたします。



感謝状御芳名

水口 泉
大森 義一
本田 啓三
窪田 常忠
小田 和也

先達辞令御芳名

元老大顧問 有功神鏡笏
水口 泉
窪田 常忠
小田 和也

教師辞令御芳名

権少教正 水口 泉
特選部長 窪田 常忠
監長 小田 和也
権少教正 水口 泉
(順不同・敬称略)
記 権禰宜 十亀

ご奉賛をお願いします

本社用提灯 献灯

本社用境内提灯献灯のご奉賛をお願いしています。

設置期間…春大祭・秋大祭

お山開き大祭
年末年始(十年間)

設置場所…本社境内

※各所ローテーション

ご奉賛金…一張金五万円

(維持管理費を含む)



ご奉賛下さいました方のご住所(県名市名)、お名前(二名まで)を記入させて頂きます。
※文字の大きさは記入例と変わることがあります。ご了承ください。



↑ 記入例 ↑

※お申込みは、お電話にて受付させていただきます。

お申込み・お問合わせ

石鎚神社 担当 大岡

☎ 089715514044

受付方法

担当…石鎚神社 大岡
受付…電話のみ

受付後…確認票と振替用紙を

送付

確認票(案)

提灯への 記入内容	電話番号	氏名	住所	石鎚神社本社境内用提灯	ご奉賛申込書
〇県〇市 石鎚太郎 // 花子	電話番号	石鎚太郎	〒〇県〇市〇町 〇丁目〇番地		

NPO
法人

石鎚森の学校活動報告

※南海放送ラジオ収録

【日時】4月13日(木)

午前9時〜11時30分

【場所】南海放送本町会館／

愛媛県松山市本町

【収録番組】お遍路の里・四国
か死に学び生を考えると看取り
を文化に

【放送予定日】4月29日、

5月27日までの毎週土曜日

午後4時50分〜午後5時

【出演者】

中橋恒(ひやし)氏／Sinking

Life Doing Life 死に学び生を

考えるプロジェクト代表・医療

法人 聖愛会 松山ベテル病院院

長、黒田仁朗(きみお)氏／同

プロジェクトプロデューサー・

フリーライターNPO法人石鎚森の

学校理事、曾我部英司(ひで

し)事務局長／NPO法人石鎚森の

学校理事・事務局長、宗教法人

石鎚神社祇宜、合田みゆき氏／

南海放送キャスター

【事務局参加】

黒田仁朗理事、曾我部英司理

事・事務局長、岩本昌美事務局

スタッフ



本法人の黒田理事や藤田晴彦理事は、以前より地元南海放送などのラジオ番組を数本担当して、その関係もあり、曾我部事務局長も森の学校設立以来、

石鎚山の発信や事業の広報などを兼ねて様々に出演させて頂いてきました。このラジオ番組への曾我部事務局長の出演要請は、黒田理事より1年以上前に受けていたところでしたが、コロナ禍のため延期になりやっと出演となった次第です。

※令和五年度 第1回

石鎚山系連携事業協議会

【日時】5月18日(木)

13時30分〜15時30分

【場所】西条市役所本館

【事務局委員自治体】西条市越

智副市長始め関係氏、上浮穴郡

久万高原町佐藤副町長を始め関

係氏、高知県吾川郡いの町水田

副町長始め関係氏、高知県土佐

郡大川村明坂副町長始め関係氏

【出席者】NPO法人西条自然学校、

(一社)いの町観光協会、愛媛

大学社会共創学部(オンライン

ン)、高知大学次世代地域創造

センター、(一社)西条市観光

物産協会、(一社)久万高原町

観光協会、西条商工会議所、

(一社)大川村ふるさと村公社、

石鎚登山ロープウェイ(株)、NPO法人石鎚森の学校、山荘しらす(オンライン代理)、四国開発フェリー(株)、西条市サイクリング大会実行委員会、高知県サイクリング協会

【オブザーバー・行政】環境

省四国事務所国立公園課(オ

ンライン)、国土交通省四国

運輸局観光部観光企画課(オ

ンライン)、環境省四国事務

局松山自然保護官事務所(オ

ンライン)、林野庁四国森林

管理局計画保全課(オ

ンライン)、愛媛県県民環境

部環境局自然保護課(オンラ

イン)、愛媛県東予地方局商

工観光室、高知県観光振興部

地域観光課、高知県産業振興

推進部計画推進課

【オブザーバー・民間】

(株)伊予銀行地域創生部

(オンライン代理)、(株)

ソラヤマいしづち、登山分科

会・四国ガイド協会

以上スタッフ等計約35名

【事務局参加】曾我部英司事

務局長、岩本昌美事務局スタッフ

※令和五年度 石鎚山
クリーンアップ協議会総会

森林管理署総括森林整備官

【事務局参加】曾我部英司事務局長、岩本昌美・黒河由佳両事務所スタッフ

【日時】5月26日(金)
午前10時～午前11時

【場所】県農林水産研究所・花き研究指導室2階大会議室／東温市

【会 員】宗教法人石鎚神社、NPO法人石鎚山の学校、石鎚山系レクリエーションの森保護管理協議会、石鎚登山ロープウェイ(株)、愛媛県、愛媛県山岳会、愛媛森林管理署、愛媛森の案内会、面河渓を愛する会、久万高原町観光協会、久万高原町商工会、西条市(一社)西条市観光物産協会、NPO法人山のボランティアNetwork

以上会員スタッフ関係者約25名出席

【役員等】会長／西条市佐竹浩 観光振興課長、副会長／久万高原町渡部定明するさと創生課長、副会長／愛媛県秋川裕一郎自然保護課長、監事／峯本典寛愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟会長、監事／相田弘道愛媛

※令和五年度愛媛県石鎚山系
エコツーリズム推進協議会
総会

【日時】5月26日(金)
午後2時～2時30分

【場所】県農林水産研究所・花き研究指導室2階大会議室／東温市

【会 員】石鎚山系エコツアーガイドクラブ(株)ソラヤマ いしづち・名勝古岩屋を守り育てる会、石鎚山系レクリエーションの森保護管理協議会、石鎚登山ロープウェイ(株)、NPO法人石鎚山の学校、(株)エス・ピー・シー、愛媛大学山岳会、えひめ森の案内人会、久万高原町、(一社)久万高原町観光協会、久万高原町商工会、西条市、(一社)西条市観光物産協会、西条商工会議所、四国森林管理局愛媛森林管理署、(一社)を

かしや、愛媛県観光国際課、東予地方局総務県民課、同商工観光課、中予地方局総務県民課、同商工観光課、(株)石鎚観光(株)伊予銀行、(株)愛媛銀行、(一社)愛媛県観光物産協会、愛媛県勤労者山岳学連盟、愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟、愛媛県信用農業組合連合会、(株)愛媛旅行新聞、面河渓を愛する会、面河地区地域運営協議会、(株)近畿日本ツーリスト中国四国松山支店、グッドリバー(株)、(一社)KUMAYAMA STORIES、NPO法人西条自然学校、JTB中国四国松山市店、四国旅客鉄道(株)ワープ松山支店、(株)農協観光愛媛支店、B-shopOCHI(株)、(株)フジトラベルサービス、NPO法人山のボランティアNetwork、(株)Umigue、(株)リクルートライフスタイル

【アドバイザー】(株)旅 tlb.info

【開催事務局】愛媛県エコツーリズム推進協議会(愛媛県自然保護課内)

【役員等】会長／愛媛県県民

環境部秋川裕一郎自然保護課長、副会長／西条市産業経済部佐竹浩観光振興課課長、副会長／久万高原町渡部定明するさと創生課長、監事／峯本典寛愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟会長

【出席者】以上関係スタッフ、職員約30名

【事務局参加】曾我部英司事務局長、岩本昌美事務所スタッフ

標記報告の通り、愛媛県と石鎚山系関係市町村を含むそれぞれのが合が3～4年ぶりに対面開催されるにつき、ようやく疫病コロナの影響も収まりつつあり、新たな事業展開へ向けて世の中が動き出したことを実感する昨今です。コロナ以前に戻るのでは無く、これからあるべき事業の構築、展開を図りたく思います。

文責・事務局長曾我部英司



頂上社 護持奉賛会のお願い

皆様のご奉賛を戴き、頂上社のご復興より、二十一年が経過しました。

皆さま、誠に有難うございます。厳しい自然環境の中に、頂上社を始め、迂回路等に、維持管理工事の必要性が現れて参りました。

今後もどうかお見守りくださいませ、ご理解ご協力を、お願い申し上げます。

・頂上社ご復興奉賛会は名称を「頂上社護持奉賛会」と改め、維持管理を目的とし奉賛活動を継承して参ります。

・金十万円以上のご奉賛の方のご芳名は、年毎に本社境内の芳名石に刻名させて頂きます。

宮司管長、拝。

お問い合わせ・郵便受付

〒七七九三―八五五五

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社 担当、岩本

TEL〇八九七―五五―四〇四四

口座 伊予銀行 小松支店

普通預金 一三九三九三

宗教法人石鎚神社

宮司 武智正人

石 鎚 社 報

〒七七九三―八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四二六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―〇二〇六 成就

五九―〇四〇八 FAX

五三―〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八〇―〇一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】大岡 忠徳

【印刷所】ブリ・キユウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索